

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> <p>生活空間を共有しながら、自分自身を十分顕現でき、自由かつ幸福な雰囲気の中かで、生活できるよう支援していくことを根本理念としている。</p>	○	理念を簡単明瞭に表現したものを、目につきやすい場所に掲示し、利用者様本位の生活の場を具現化していく。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> <p>理念のポイントを短縮化し、朝の申し送り時に宣言し、徹底して利用者様の想いにそえるように工夫している。</p>	○	管理者はスタッフと共同体制を強化し、理念の現実化を目指し取り組む。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> <p>自治会へのアプローチ、地域行事への積極的参加等の折に、理念をアピールし、理解の浸透を図っている。</p>	○	地域の方々を招待し、健康づくりを目指した料理教室を予定する。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> <p>隣人とお互いの畑の花々を賛美し合ったり、花の育て方を教え合ったり、なごやかに日々のあいさつを交わしている。</p>	○	近くの人達がふれあい市を行う時、協賛し場所の提供などをする。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> <p>自治会への参加、ボランティア清掃への参加をしている。地域行事への招待参加は努めて履行している。</p>	○	情報を得た事柄には、極力参加し協力していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	月一回の職員会議で、常に地域貢献について、取り上げ検討している。介護に関する相談にも応じている。研修時のお話をさせていただいている(キャラバンメイト)。	○	認知症などの老人介護全般について、相談できる場として開放していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価で周辺を見直し実態を把握し、外部評価で再認識し、見直した事(反省会)を実施に向け取り組んでいる。	○	今後も外部評価を厳粛に受け止め、工夫し具体化していく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	レベルの高いアドバイスをいただき、反映できるよう職員会議で検討しサービス向上に反映している。	○	運営推進会議のメンバーが、ボランティア活動を意欲的に行っている方々なので、共に向上を図る。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	折りに触れ訪問し、相談している(又は電話にて交流)。また、情報提供に努めている。	○	キャラバンメイトとして、市町村担当者と協力し、市へ貢献していく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	該当する研修へ参加し、各職員へ周知するなどの手段を講じている。実際に、研修内容を反映し支援している。	○	現在の学びをベースに、今後も学びの機会を利用し、現在の後見人の司法書士と密に相談していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	通常の行為が虐待になっていないか、虐待防止の研修の資料などを全員に配布し、委員会で見直し虐待防止に努めている。	○	研修へ積極的に参加し、学んだ事をスタッフ全員が共有し、現場に活かせるように努力する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得のいくまで時間をかけ、質問にお答えし説明している。	○	利用者様、ご家族の方々と話し合う機会を十分に取れるよう、努力していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	午前のレクリエーションの時、一緒に行いながら利用者様の意見などを汲み取っている。	○	利用者が意見などを、表出しやすい雰囲気づくりに努める。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	電話、または、訪問時に時間を操り説明し、話し合いをしている。 行事の時を家族間の交流の場とし、情報交換をすることとしている。	○	幸い、ご家族とお話する機会が多いので、報告は細かく配慮し早く伝達する。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①ご家族にはノートに記述していただき、紙上で意見交換し、よい点は導入している。 ②ご意見箱を設置している。	○	交換ノートを続行し、それを職員にワンクッションおいて反映していく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議(月1回)と臨時ミーティングで、意見や提案を反映させ一つ一つ解決している。	○	定例職員会議の内容を深める。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員間で相互信頼ができていますので、お互いが協力し十分反映している。	○	ゆとりを持ったスタッフ人数の確保をしている。。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員数に余裕を持ち、ご利用者様と馴染んでおくことで、一人退職しても変化を最小限にする努力をしている。	○	余裕期間中に、新スタッフを導入しておく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各人に合わせて瀬戸内学院の研修などを、利用しながら研鑽に努めている。持ち帰った資料を公開し、全員が知識を共有できるようにしている。	○	研修情報を確保し、各々に合わせて参加へのアドバイスを する。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西香川病院における勉強会などに出かけ、同業者と交流し情報交換をしている。	○	同業者のイベントには、積極的に訪問できるようきっかけを作り応援していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	仕事のシフトをゆるやかに勤務を組んでいる(休日多い)。よき相談相手となるよう職員の声に耳を傾けるように努めている。	○	ゆとりのある人員配置の努力をする。 休憩時におやつ配慮をする。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各人に適切な研修への参加を支援し、向上心を持てるようアドバイスしている。	○	向上の度合いによって、評価、賞賛し給料もアップしていく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に面会し、導入が自然体で行えるように傾聴し、主訴を把握しよく話し合い対応する努力をしている。	○	面接を繰り返す、気を許せる間柄の構築に努める。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談しやすい雰囲気を持てるよう努力している。事務室を開放し相談に応じている。電話による相談も受け付けている。	○	介護相談室として、機能を果たせるように努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	精神的な方面においても、セラピーの意味も含めて訪問鍼灸治療、マッサージを導入したりしている。	○	ご本人、ご家族と話し合いの時間を十分に持つ。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前面接を行い、よく説明した上でご案内している。	○	自己を磨き研鑽を積む。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族会を兼ねた行事の時に発表できるよう、歌とか踊りを一緒に相談しながら一体感を大切にしている。	○	レクリエーション時はスタッフも協働体制で参加し、一緒に楽しみ、喜び合えようになりたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方々とは、常に対話する機会を持ち、協力体制が構築できている。	○	今の姿勢であり続けたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	仲介し、仲直りできた嫁姑は、現在良い関係で語り合っている。	○	ご家族とご本人が心から話し合える場づくりに励む。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前おつき合いのあった人々を気安くお迎えし、地域ぐるみのサロンのようである。	○	以前の友人、知人の出入りが盛んな場であり続けたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常に各人と話し合い、主訴を理解している。スタッフがつなぎの役目をしている。	○	仲間はずれができないように、雰囲気づくりの努力を惜しまない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	介護度の変更により転居された方にも、退所後のアドバイスや支援を続けている。	○	折にふれ訪問し、ご家族とも連絡をとる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望を、日常生活の会話の中で汲み取り、本人が一番喜ぶ方法を検討し実施している。	○	その人その人の希望を傾聴し、常に理解できている状態にする。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族とよく話し合い生活暦を十分把握し、馴染みの暮らしが再現できるよう努力している。	○	対話、傾聴、アドバイスを繰り返していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録、申し送りから、その日の過ごし方、心理状態等を、総合的に把握するよう努めている。	○	とにかく様子観察と対話に細心の配慮をする。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ同志、または、ご家族の方々と十分話し合い介護計画を作成する。	○	利用者様の気持ちを汲み取り、かなえてあげられる配慮をする。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に変化があった時は、アセスメントをし、速やかにプランを変更している。	○	常々、様子観察に留意する。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録と申し送り情報を共有し、ケアプラン作成に活かしている。	○	見直したことがプランに反映し、変更事項が実践できるよう努める。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族も折にふれ、食事を共にできるよう配慮している。	○	家族とのふれあいの場であり続けたい。うちん家の延長線上でありたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員……運営推進会議 ボランティア……料理教室 消防……火災訓練・救急訓練 などの協力、支援がある。	○	地域機関に働きかける努力を続ける。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問歯科診療とか、鍼灸治療の導入を積極的に行っている。	○	良い手段は積極的に導入し支援していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただき、そのメンバーの方がパイプ役をして協働体制を取っている。	○	協力体制の保持と強化に努める。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と話し合い、希望の医師と常に積極的に相談をし、ターミナル時も往診をしていただける関係を築いている。	○	医師との連携を心やすいつながりとし、何でも相談できる体制であり続ける。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	三豊市立西香川病院とよい提携がとれているため、折りにふれ診断・治療が適切に受けられるよう支援できている。	○	よりよい提携が続くよう、病院へアプローチをしていく。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	三豊市立西香川病院の看護職の方々が、ご利用者様をよく把握して下さっているので、すぐ気軽に相談できるし訪問して下さることも可能である。	○	看護職の方とは会う機会が多く、その都度ご利用者様の話を日常的に相談していく。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は度々訪問し、病院サイドと話し合い協力体制が構築できている。	○	医療機関とより強い協力体制を続ける。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期は、三豊市立病院の院長直々に相談相手となっていただき、ご家族様と三位一体で行えている。	○	親身な姿勢をくずさず、ご本人やご家族の想いを支援できるアドバイザーとなるべき努力をする。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	過去における重度化、終末期に向けたチーム支援の際、医師から心からの賞讃をいただいた。	○	今後も経験を生かし、ご利用者様がすこやかに過ごせる配慮への努力をスタッフ一同続けていく。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人様の心の準備ができるように、予備知識を得るための配慮をさりげなく行っている。ご家族との連絡も密に行っている。 荷物の搬送は当方で行き同行する。	○	現在の配慮は続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフ相互で確認しあい留意している。言葉かけや対応は、ご利用者様を尊重した態度で行うよう、お互いが注意し合っている。	○ スタッフ相互で注意し合い、プライバシー保護の徹底に努力していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思いや希望を表せるよう、言葉かけに気をつけ、ご本人が自分で決定できるよう支援している。	○ 思いやり、優しさを大切にし、支援する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者同志のコミュニケーションの時間や自由空間スペースで、気の合った人達との談話ができるように支援している。自室でくつろぐなど、自分に合わせて行動できている。	○ スタッフが成長し、心に寄り添って支援できるよう努力する。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ほぼ利用者全員が、スタッフのカットが気に入っているのので、担当スタッフがカットし、入浴中に洗髪しブロー仕上げもしている。	○ 本人の希望を満足させてあげられるよう、技術の向上も必要である。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下準備などは喜んで手伝って下さる。また、下膳する時は共に行っている。	○ 現在の状態が続くよう努力する。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	各利用者の嗜好は、常にうかがい細かい配慮をしている。	○ 常々観察を細かくし、利用者の嗜好を把握しておく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各室にトイレがあるのでプライバシーは守れ、失敗も少ない。失敗してもプライドに傷がつかないような処理できている。	○	異臭のしない清潔な場(トイレ)の保持に努める。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるので、一人ひとりの希望が実現できている。	○	ほとんどの人が毎日を楽しみにしている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	悠々自適な生活であると、利用者の方々は喜ばれている。	○	眠れない場合、水分補給、話し相手、心身の安定の考慮をする。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	身体能力に合わせ、また、ご希望をうかがい畑づくり、花づくり、野菜の収穫をしている。洗濯物をたたみ、仕分けをスタッフと行っている。	○	生きがいが持てるような場面、「あなたじゃなきゃー」という場面づくりをしていく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族が了承している方だけ、おこづかいを持って買い物に出かけ欲しいものを買ったり、頼まれたものを買って来る。	○	立替金で、希望者にはスーパーで欲しい物を買うことを楽しんでいただく機会をつくる。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所周辺の散歩を楽しめる。また、花による景色を楽しむ工夫をしている。	○	花づくり、野菜づくりを続けていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご希望があればスタッフと小ドライブをし、周囲の景観を楽しむ支援をしている。また、ご家族と食事外出の支援をしている。	○	催し物があれば、全員で楽しむ工夫をする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望がかなうよう仲介している。手紙は書く援助、投函援助をしている。	○	ご本人の満足感が十分得られるようにしたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問客の接待への配慮により、皆気軽に度々訪問される。くつろぎの場の提供を工夫している。	○	声かけや対応に、好感を抱けるように心がける。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、常々話し合いをしている。現在はその必要性はないが、今後の対応策も考慮している。	○	他事業所の現状とか情報を知り、我が身に振り返り対応策を考慮しておく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一際、鍵をかけたことはない。	○	見守りケアをさりげなく配慮していく。今後も日中は、開放のつもりである。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守り、部屋でいる時の声かけ、安否確認、ナースコールへの即対応に配慮している。	○	夜の巡回時は確認をおろそかにしない。いいかげんな安否確認にならないよう努める。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	事務所サイドの保管ばかりでなく、利用者が自分で責任を持てるものは、その人に合わせて所持していただき注意を怠らないようにしている。	○	保管管理責任者は、状況を常に把握できており、スタッフは状況把握を共有する。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	スタッフ一人ひとりが、各々研修参加などで情報を共有し、積極的に向上を図っている。また、利用者一人ひとりの状態に配慮している。	○	状態に応じ、臨機応変に対応できるよう訓練する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修等への積極的参加と、事業所で救急隊員を招き訓練を毎年定期的に行っている。	○	訓練の回数を増やし、熟知、熟練し即対応できることを目指したい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を折りにふれ行っている。自治会へアプローチをしている。	○	近隣との良き関係づくりの強化を図る。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	折りにふれ、ご家族様と話し合いを繰り返している。	○	今のよい現状が持続するよう努力する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送りと、その都度スタッフ間で、即情報共有できる連絡体制の強化を図っている。	○	きめ細かい観察の努力と、医学知識の研鑽に努める。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用を熟知し、その人その人にふさわしい服薬管理、薬の服用支援の工夫をしている。	○	医学、薬学の勉強会を企画していく。専門職の知識を共有できる努力をしていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜中心、さつまいも等繊維の多いものを使用、水分管理に配慮している。	○	お互いの経験や知識を交換する。事業所内部での勉強会の企画をし実施していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	その都度、その人その人に応じた支援と、定期的に医師の訪問による口腔ケアが行われている。	○	今のよい現状が続くように努力する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	観察と記録、体重記録をベースに利用者一人ひとりの支援をしている。職員は利用者全員の情報を共有している。	○	状態観察により、状況を判断し、即対応できることを目指したい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	研修参加を積極的に行い、内部でも積極的に注意し合っている。また、マニュアルを把握し実践している。	○	その都度、情報把握し、マニュアルにそった実践をしていく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の購入は、毎日適量仕入をし、新鮮かつ安全なものを選んでいく。	○	調理したものは、その都度処理し、材料購入時には、細心の目配り、気配りをする。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	手すり、スロープを設置している。事業所周辺、玄関周りには季節の花々が常に在ることをモットーとしている。	○	足元の安全確保を怠らない。清掃時危険物の除去に努める。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出写真の展示や、トイレには季節の花を生けるなど配慮している。異臭のない空間づくりへの配慮をしている。	○	異臭のない空間の保持に努める。騒音防止の配慮も怠らない。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下を利用し、小テーブルやソファで『くつろぎの空間』を用意している。	○	ポーチで風景を楽しみ、ストレス解消できるようにする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者各人好みの造りで、ご家族様、ご本人、スタッフが相談し、お気に入りの部屋づくりをし過している。	○	希望がかなうよう見守り、支援する。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	自動空調により快適である。換気も心配りし、快適感を保持できるよう努めている。	○	換気を十分にし、空気の清浄さを保持する。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止のための補助具などを、必要者には設置している(トイレ等)。必要な手すりの設置、段差解消はできている。	○	歩行器や車椅子を常備し、行動が自立できるよう配慮していく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自室の表札や、その人が理解しやすい目印をご利用様と話し合っ工夫している。	○	各部屋に花の名前をつけて印象づける。各々に個性を持たせていきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	周囲の風景をポーチに出て楽しんだり、事務所を散歩することでストレス解消できている。	○	畑の収穫を楽しみながら、土いじりを楽しむ支援をする。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

異臭のしない清潔感あふれる空間の中で、笑い声あふれ、各々のご利用者様が幸福で、今からの人生を共有して行ける場としてあり続けたい。
 見栄はいらないヨ！
 うちの人達が幸だったら } 故管理者は亡くなるまで、おっしゃり続けておりました。
 評価なんか気にしなくて良いのよ